



みかづきのように

ついに受験生にとっての正念場の時期となりました。一足早く志望していた私立高の合格を決めたみなさん、おめでとうございます。公立入試はまさに追い込みですが、息抜きを兼ねて塾で封筒詰め作業を手伝ってくれる中3もいて、ちょっとほっこりします。また、この時期に残念ながらインフルに感染してしまった人もいますが、ロイノートを使って質問のやり取りができています。少しは不安が和らぐのではないのでしょうか。始まったばかりのNHK土曜ドラマ「みかづき」で主演の高橋一生さんと永作博美さんが「未来の世の中では一人ひとりが電話を持ち歩くようになるかも」「いや、それは無理でしょう」という会話をしていましたが、それが現実になった今、利用しない手はありません。このドラマは千葉県学習塾を舞台にした小説をもとにしています。以前も触れたように原作者の森絵都さんに資料をお送りしたことから、ご丁寧なお礼状をいただいています。ドラマでは原作よりもコミカルな味付けにしているみたいですが、ぜひご覧になってみてください。

さて、全豪オープンテニスでの大坂なおみさんの優勝。本当に素晴らしいことです。彼女の急激な成長は精神面の充実もあってのことと言われていますが、リードを奪われても再逆転できるようになった点が凄いところ。かつての名選手で今はテニス解説もされている沢松奈生子さんが「こんなに伸びしろを残して世界1位になった選手は今までいないのではないのでしょうか。」と語っています。ユーミンの「14番目の月」という曲の中に「次の夜から欠ける満月より、14番目の月がいちばん好き」というフレーズがあります。三日月はそれどころかまだこれからどんどん満ちてくる月。みなさんはちょうどそのようなところにいると思ってください。ただし、伸びようという気持ちのない人には、伸びしろはないということも事実です。「この程度が自分の実力」と満足してしまっている人、「どうせ自分なんか」とすねてしまっている人。この塾が大坂選手にとってのバインコーチのようになれるよう私たちも頑張ります！